

**2025年日本国際博覧会
大阪パビリオン推進委員会**

委員総会

令和4年11月21日

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会委員総会

日時：令和4年11月21日（月） 16時から16時30分まで（予定）

場所：大阪市役所 屋上階（P1）会議室

□次 第

議案 2021年度決算について

報告事項 大阪ヘルスケアパビリオン建設工事の契約について ほか

□出席予定者 別紙（参考資料）のとおり

□配布資料

資料1 「2021年度収支決算報告書」

資料2 「大阪ヘルスケアパビリオン建設工事の契約について」

資料3 「大阪ヘルスケアパビリオン『展示・出展ゾーン』の進捗について」

資料4 「大阪ヘルスケアパビリオンへの出展参加者の決定について」

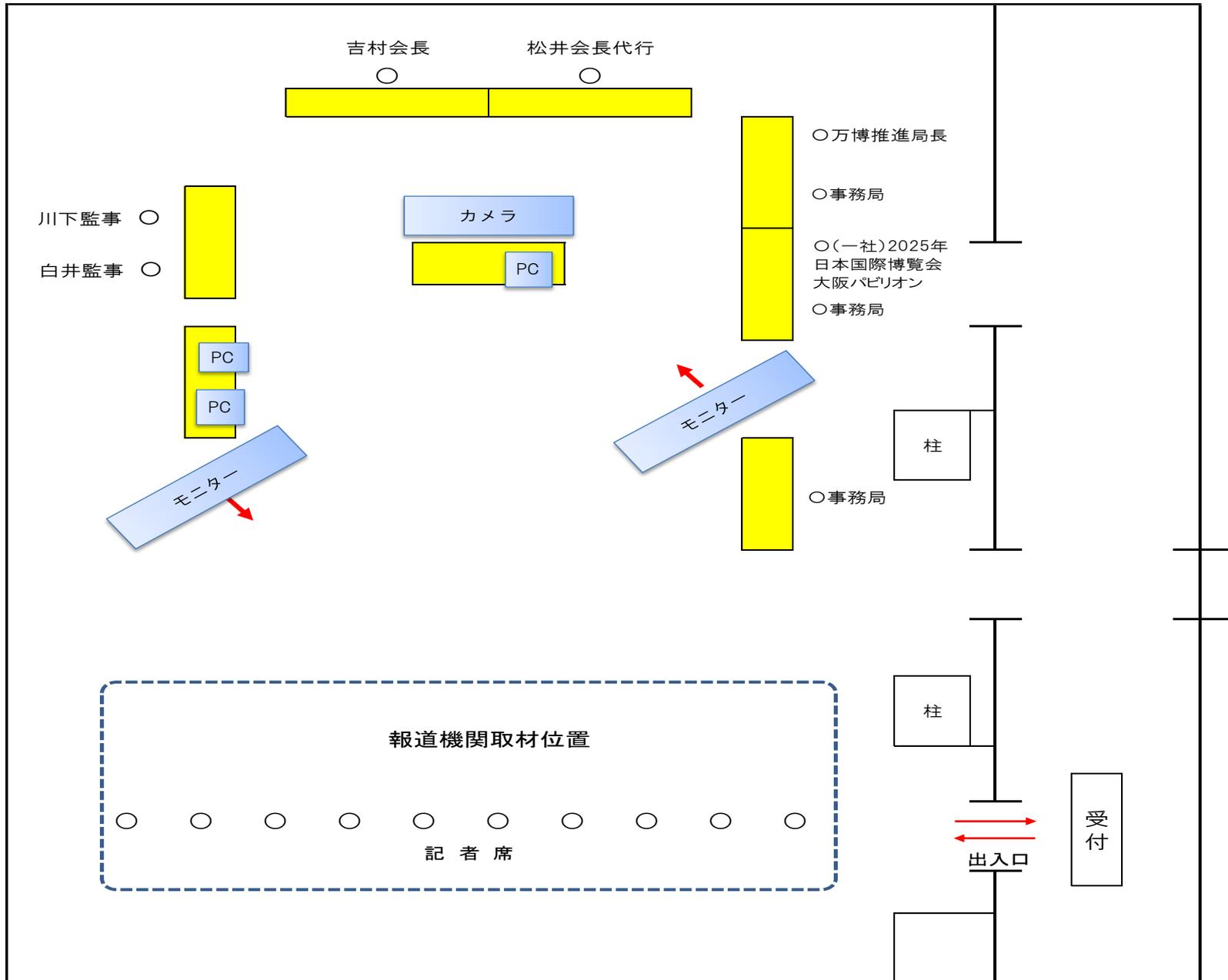
資料5 「臓器が再生できる未来へ～iPS細胞による“生きる心臓モデル”の展示～」

資料6 「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会名簿」

資料7 「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会アドバイザー等名簿」

参考資料 「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会委員総会出席者一覧」

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会委員総会
日時 令和4年11月21日(月曜日)16時～16時30分(予定)
場所 大阪市役所 屋上階(P1)会議室



□議案 2021年度決算について

2021年度収支決算報告書

2021年4月1日から
2022年3月31日まで

【収入】

(単位：円)

項目	当初予算額 (A)	補正予算額 (B)	決算額 (C)	差引 (C-A-B)	備考
大阪府分担金	46,072,000	0	46,072,000	0	大阪府からの入金
大阪市分担金	46,072,000	0	46,072,000	0	大阪市からの入金
大阪府市分担金 (補正予算)	0	11,680,000	9,900,000	▲ 1,780,000	大阪市からの入金
その他収入	50,000,000	0	80,000,000	30,000,000	協賛金収入 ※次年度に引継ぎ
預金利息 (通常口座)	0	0	440	440	
預金利息 (協賛金口座)	0	0	179	179	※次年度に引継ぎ
収入合計	142,144,000	11,680,000	182,044,619	28,220,619	

【支出】

(単位：円)

項目	当初予算額 (A)	補正予算額 (B)	決算額 (C)	差引 (C-A-B)	備考
①大阪館 (仮称) 出展基本計画策定業務	50,000,000	0	49,887,181	▲ 112,819	
②大阪館 (仮称) 基本設計業務 (建築・設備)	18,000,000	0	17,160,000	▲ 840,000	
③大阪パビリオン推進委員会運営費	24,144,000	0	5,761,184	▲ 18,382,816	
④積立金	50,000,000	0	0	▲ 50,000,000	
⑤大阪館 (仮称) CM業務	0	11,680,000	9,900,000	▲ 1,780,000	
⑥大阪府・市への分担金精算	0	0	19,336,075	19,336,075	
支出合計	142,144,000	11,680,000	102,044,440	▲ 51,779,560	

※協賛金収入 (利息含む) は次年度へ繰り越し 80,000,179

監査報告書

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会
会長 吉村 洋文 様

記

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会の2021年度の事業の執行及び会計の状況等について監査を行いました。その結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査方法の概要

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会における業務について、事務局職員からその職務の執行状況の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧する方法により、事業の執行について監査をいたしました。

また、出納簿、銀行通帳及びこれに関する収入・支出の明細等の関係の確認を行い、当該事業年度に係る会計の状況等について監査をいたしました。

2 監査の結果

2021年度の事業の執行状況及び会計の状況等について、適正に執行されていると認めます。

令和4年8月25日

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会
監事 白井 弘

監査報告書

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会
会長 吉村 洋文 様

記

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会の2021年度の事業の執行及び会計の状況等について監査を行いました。その結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査方法の概要

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会における業務について、令和4年8月30日及び9月22日に事務局職員からその職務の執行状況の報告を受け、必要に応じて説明を求め、委託業務契約における事業者選定方法や、契約関係書類を閲覧する方法により、事業の執行について監査をいたしました。

また、当該年度事業に係る収入・支出について事務局職員から執行状況の報告及び白井監事の監査結果の報告を受け、必要に応じ説明を求め、会計の状況等について監査をいたしました。

2 監査の結果

2021年度の事業の執行状況及び会計の状況等について、適正に執行されていると認めます。

令和4年9月22日

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会
監事 川下 清

● 9月15日：建設工事の施工予定者の選定結果を公表

【選定結果】

施工予定者：株式会社 竹中工務店

総合評価点：-153.57点*（内訳 価格：-327.57点、実績審査：22点、技術提案審査：152点）

*提案価格と事業費参考額に大きな差があったため評価点がマイナスとなっている

【経過等】

応募・参加：応募は2者。うち1者は参加辞退したため、参加者は1者。
（公告日5/20、技術提案書等受付8/5～8/9）

選定方法：公募型プロポーザル実施要領に基づき、有識者3名からなる選定委員会で審査

選定経過：技術提案の評価は高かったものの、事業費参考額（約74億円）と提案価格（約195億円）に大きな差があったため『参加者からのVE提案*（約134億円）に、コストダウン案を加えることで事業費参考額に近づけることが可能か確認するよう』選定委員の指摘を受け、発注者において100億円近くまでコストダウンを図ることができを確認。その結果を選定委員会に諮り、(株)竹中工務店を施工予定者として選定。

*VEはバリュー・エンジニアリングの略で、設計図書に定める建築物の機能、性能等を低下させることなく工事費の低減を可能とする建設資材や施工方法等の変更の提案。

大阪ヘルスケアパビリオン建設工事の契約について

- 大阪ヘルスケアパビリオン建設工事の施工予定者について、2022年8月24日及び9月14日の選定委員会の審査を経て、9月15日に(株)竹中工務店を選定し、事業費約115億円から今後の調整を進めることを確認したうえで、9月30日に技術協力業務委託契約を締結。
- 契約締結後、(株)竹中工務店の技術協力を得ながら、実施設計の精査を進め、コストダウンを図るとともに、それを踏まえて価格等の交渉を行った。
- その結果、事業費を約99億円とすることで協議が整ったことから、11月14日に「2025年日本国際博覧会 大阪ヘルスケアパビリオン建設事業費等有識者懇話会」を開催したところ、有識者から、仕様や価格等については「妥当である」とのご意見をいただいた。
- こうしたことから約99億円を契約額とし、(株)竹中工務店と11月25日に契約を締結することとする。

【概要】 契約相手方：株式会社 竹中工務店

契約金額：9,889百万円（税込）

契約予定日：2022年11月25日

工事等の内容：・本館棟、ミライのエンターテインメント棟

・バックヤード棟

・解体撤去工事 など

【2025年日本国際博覧会 大阪ヘルスケアパビリオン建設事業費等有識者懇話会】

<目的>

契約予定金額の妥当性、事業費の変動の妥当性、外観イメージ等、及び工程の妥当性について有識者に専門的な見地から意見をいただくことを目的に実施するもの

<有識者>

所属・職名等	氏名
大阪電気通信大学工学部建築学科教授	高畑 顯信
建築家	藤本 壮介
一般財団法人大阪建築防災センター理事長	吉田 敏昭

<意見>

□契約予定金額

・実施設計の精査やコストダウンは適切に協議されており、資材の数量や契約予定金額（約99億円）については妥当である。

□外観イメージ等

・屋根の仕様や基礎構造の見直し等によりコストダウンを図りつつも、当初の外観イメージをできる限り損なうことなく、建物の機能についても適切に維持できている。

□工程

・屋根や基礎等に加え、資材の調達期間等も適切に反映されており、展示運営に向けた準備期間も勘案したうえで、万博開幕までに完了できる工事期間とされており、妥当である。

大阪ヘルスケアパビリオン建設工事の工事費内訳 参考比較

【事業者提案価格からの主なコストダウンの内容】

- 躯体・・・本館棟の基礎構造の変更、床下ピット範囲の縮小、木質パネル壁を鉄骨ブレースに変更、外装材の仕様変更
- 屋根・・・屋根の材料の変更、構造の合理化（組立方法を溶接⇒ボルト）、施工方法の合理化、トラス屋根の範囲縮小
- 内装・・・内装材、塗装、建具の仕様変更
- 設備・・・屋根範囲の縮小に伴う照明機器の減
- 外構・・・水盤の深さ変更・範囲の縮小

(単位：億円)

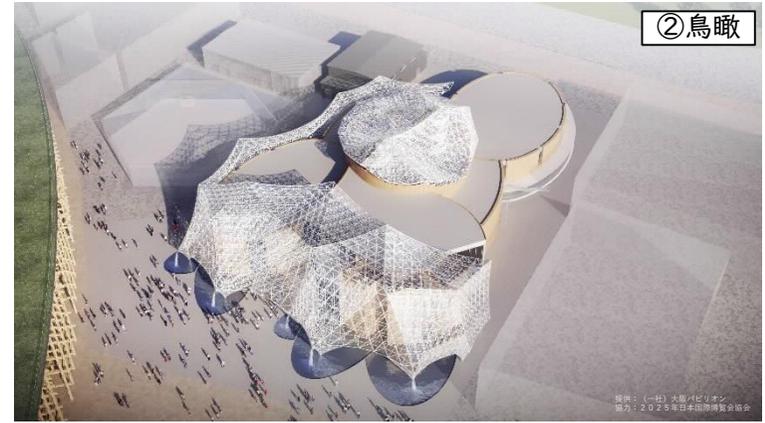
項目	①事業費 参考額	②事業者 提案価格	③VE提案 反映額	④補正 予算額	⑤契約額	内訳	①事業費 参考額	②事業者 提案価格	③VE提案 反映額	④補正 予算額	⑤契約額
本館棟 諸経費・税込み	67	186	125	107	91	躯体	18	33	30	29	22
						屋根	15	74	33	25	24
						内装	3	8	6	6	5
						設備	15	19	19	19	18
						その他（諸経費・税など）	16	52	37	28	22
ミライのエンタメ棟 諸経費・税込み	2	2	2	2	2						
バックヤード棟 諸経費・税込み	2	3	3	3	3						
外構 諸経費・税込み	3	4	4	3	3						
工事費計	74	195	134	115	99						

大阪ヘルスケアパビリオン建設工事 外観イメージ

①正面



②鳥瞰



③リング上から



④夜景



2025年 大阪・関西万博

大阪ヘルスケアパビリオン

「展示・出展ゾーン」の進捗について

中小・スタートアップ出展企画推進委員会
(事務局:公益財団法人大阪産業局／大阪商工会議所)

 公益財団法人
大阪産業局
OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT AGENCY

 The Osaka Chamber of Commerce and Industry
大阪商工会議所



大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」の推進体制

2025年大阪・関西万博における大阪ヘルスケアパビリオンの「展示・出展ゾーン」は、中小企業・スタートアップの技術力、魅力を発信する場として、公益財団法人大阪産業局と大阪商工会議所が、共同で企画・運営を担う。

両団体では、「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」(委員長:立野純三・公益財団法人大阪産業局理事長、大阪商工会議所副会頭)を設置し、大阪府、大阪市とも協力して検討を進める。

両団体では、優れた中小企業・スタートアップを発掘・支援し、大阪パビリオンでその象徴的な成果、活躍を効果的に発信できるように、万博の会期中だけでなく、準備期間や開催後も視野に入れた取り組みを企画・推進する。

「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」

設置目的

万博開催を契機として、公益財団法人大阪産業局と大阪商工会議所が共同して、その期間の前と後、バーチャルとリアル、会場の内と外を問わず、優れた中小企業・スタートアップを発掘・支援しつつ、大阪ヘルスケアパビリオンにおいては、その象徴的な成果、活躍を効果的に発信する取り組みを企画・推進すること。

委員構成

【委員長】 公益財団法人大阪産業局理事長／大阪商工会議所副会頭
【副委員長】 公益財団法人大阪産業局 専務理事
大阪商工会議所 常務理事・事務局長
【委員】 大阪府商工労働部商工労働総務課 参事
大阪市経済戦略局企業支援課長

委員会内WG

「展示・出展ゾーン」の企画・運営に関すること等の円滑な遂行を図るため、委員会にWG(部会)を設置する。WGの構成員は大阪産業局、大阪商工会議所の職員で構成する。

大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」の概要

- 大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」では、優れた大阪の中小企業・スタートアップを発掘・支援し、その象徴的な成果、活躍を効果的に発信し、万博の会期中だけでなく、準備期間や開催後も視野に入れた一連の取組を通じて、更なる大阪の中小企業・スタートアップの成長・発展、イノベーションの好循環に繋げる。
- 公益財団法人大阪産業局と大阪商工会議所が共同で設置する「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」(委員長=立野純三・公益財団法人大阪産業局理事長、大阪商工会議所副会頭)が企画・運営を担う。
- 多くの中小企業・スタートアップが出展できるように、毎週、展示企業を入れ替える形で運営予定。出展を希望する中小企業・スタートアップは、リボンチャレンジ実施主体から支援を受け、同ゾーンへの出展をめざす。
- 令和4(2022)年5月~8月、中小企業・スタートアップの支援が可能な金融機関・公的な団体から「展示・出展ゾーン」の事業企画を募集していた。



事業企画のリボンチャレンジ認定について

- 「展示・出展ゾーン」における事業企画は、18企業・団体から30件の応募があり、外部審査員等による書面審査と意見聴取(一部提案のみ)を実施した。
- 審査結果を踏まえ、2022年10月12日の「中小・スタートアップ出展企画推進委員会総会」において、同ゾーンへの参加をめざす中小企業・スタートアップの支援事業「リボンチャレンジ」として以下の14企業・団体から提案のあった26件を認定した。
- 各リボンチャレンジ実施主体において、展示企業の募集を2023年1月以降、順次開始予定。

(株)池田泉州銀行

- ① みんなで描こう、誰もが暮らしやすい社会～未来の生き方・働き方～
- ② 大阪発！ワクワクする未来の暮らし～世界一おもしろい都市をめざして～
- ③ 共に創ろう、ヒトとモノとデジタルの未来～デジタル技術で変わる、大阪のモノづくり～

(地独)大阪産業技術研究所

少し先の未来生活を支える「縁の下 (E-N-NO-SHI-TA)」ものづくり企業たち

(公財)大阪産業局

- ① カーボンニュートラルトレジャーハント～便利な未来を支える技術たち～
- ② みんなで考える未来の街プロジェクト
- ③ 明日が楽しくなる町「スマートヘルスケアタウン」プロジェクト
- ④ MOBIO大阪パピリオン展示 No / BORdER 国境・垣根・時代・カベを越える技術展

大阪シティ信用金庫

未来の生活スタイル～スマートルーム～

大阪商工会議所

- ① サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクト(共同:(協組)関西ファッション連合)
- ② 身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が解決します！(共同:大阪信用金庫)
- ③ ウェルネスを実現するテクノロジーと空間～カラダ(フィジカル)の健康と美容を実現するオフィス～
- ④ ウェルネスを実現するテクノロジーと空間～ココロとアタマの健康を目指したオフィス～
- ⑤ Series A; セレクション～輝く未来社会の創り手ここにあり～

大阪商工信用金庫

Rethink まちからはじまる、脱炭素への取り組み まちと社会、これからの暮らし

(一社)大阪府経営合理化協会

幸福寿命の実現を目指して

大阪府中小企業団体中央会

パワースポット IN OSAKA 中小カンパニー

(一社)関西イノベーションセンター

(施設名: MUICKansai)

観光の新規事業の実験場～観光産業から、関西を元気に～

関西大学

Academia × REBORN ～学理と実際の調和～

(一社)西日本プラスチック製品工業協会

バイオプラスチックでREBORN

(株)三菱UFJ銀行

Start×Reborn×Local ～大阪がミライをかえる3つのWAY～

八尾市

まちこうばのエンターテイメント！～みせるばやおモデル～

(株)りそな銀行

(共同:(株)埼玉りそな銀行、(株)関西みらい銀行、(株)みなと銀行)

- ① りそなグループ ～春～【ライフサイエンス・ヘルスケア領域】パーソナルデータに基づく健康へのアプローチ
- ② りそなグループ ～夏～【SX/環境・エネルギー領域】新しいエネルギーシステムや環境配慮商品によるサステナブルな未来
- ③ りそなグループ ～秋～【フード・ライフ/デザイン・アート領域】日本の伝統産業や食文化、ものづくりの根底にあるデザイン・アート
- ④ りそなグループ ～冬～【DX/デジタル・データ/ものづくり領域】ものづくりの力と未来を感じさせる最新技術の融合からわくわくする時代への思いを馳せる

大阪ヘルスケアパビリオンへの出展参加者の決定について

【出展参加者一覧（50音順による）】

- 江崎グリコ株式会社
- 西日本旅客鉄道株式会社
- 株式会社ビットキー
- BIPROGY株式会社

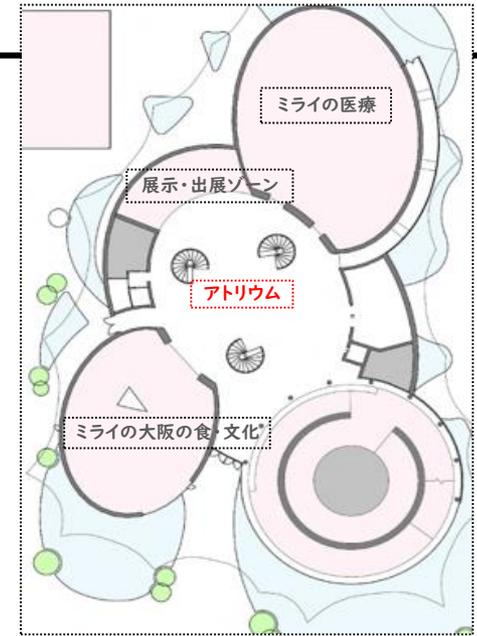
※令和4年6月17日に開催された2025年日本国際博覧会大阪パビリオン
推進委員会委員総会以降に出展参加者として決定した企業

【大阪府・市再生医療出展の方向性】

- 「大阪・関西万博を契機とした「未来社会」の実現に向けて(大阪版アクションプラン)」では、「大阪・関西に再生医療を中心とするライフサイエンス分野におけるトップクラスの研究機関、企業、大学等が集積する強みを活かし、ライフサイエンスを成長の柱として新たな価値を発信するとともに、大阪・関西万博を契機に、健康・医療分野で世界に貢献することをめざす」とされている。
 - それを実現するため、大阪ヘルスケアパビリオンにおける大阪府・市の取組みとして、iPS細胞で作製した心筋シートを用いた心臓展示をはじめ再生医療の国内外への情報発信に向け、取組みを進めていく。
- ▶ 大阪・関西の再生医療のポテンシャルと未来の医療を子どもたちにも分かりやすく示すことで、将来への期待と、いのちの大切さを学んでもらうとともに、科学への関心を高め、次代の人材育成にもつなげる。

【展示内容(イメージ)】

- iPS細胞で作製した心筋シートを用いた心臓展示
- 再生医療における大阪・関西のポテンシャルの発信
- 再生医療の未来



2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 名簿
(2022年11月21日現在)

◆役員等

会長	吉村 洋文	大阪府知事
会長代行	松井 一郎	大阪市長
監事	白井 弘	白井公認会計士事務所公認会計士
監事	川下 清	梅田総合法律事務所弁護士
顧問	松本 正義	公益社団法人関西経済連合会会長
顧問	鳥井 信吾	大阪商工会議所会頭
顧問	生駒 京子	一般社団法人関西経済同友会代表幹事

◆委員

大阪府
大阪市
公益社団法人関西経済連合会
大阪商工会議所
一般社団法人関西経済同友会

・協賛企業 (50音順による)

株式会社あきんどスシロー
株式会社池田泉州銀行
⑨ 江崎グリコ株式会社
株式会社カプコン
小林製薬株式会社
株式会社サイエンス
公益社団法人全日本不動産協会
大日本印刷株式会社
タカラベルモント株式会社
TIS株式会社
東京書籍株式会社
⑨ 西日本旅客鉄道株式会社
日本生命保険相互会社
パナソニックホールディングス株式会社
⑨ 阪急コンストラクション・マネジメント株式会社
⑨ 株式会社 ビットキー
⑨ BIPROGY株式会社
株式会社ファーマフーズ
株式会社ミルボン
森永乳業株式会社
株式会社りそな銀行
ロート製薬株式会社
六甲バター株式会社

・協力機関 (50音順による)

⑨ 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
公益財団法人大阪観光局
大阪工業大学
大阪公立大学
一般財団法人大阪国際経済振興センター
地方独立行政法人大阪産業技術研究所
公益財団法人大阪産業局
大阪大学
大阪府中小企業団体中央会
関西大学
近畿大学
⑨ 公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団
森ノ宮医療大学
立命館大学

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 アドバイザー等名簿（2023年2月7日現在）

※敬称略 50音順による

		氏名	職名
総合プロデューサー		森下 竜一	大阪大学大学院 医学系研究科 寄附講座教授
スーパーバイザー		東 博暢	株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル
		大津 欣也	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長
		つくも♂	音楽家/総合エンターテインメントプロデューサー
		遠山 正彌	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 理事長
		中村 祐輔	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長
		西澤 良記	公立大学法人大阪 理事長
		橋爪 紳也	大阪公立大学 研究推進機構特別教授/大阪公立大学 観光産業戦略研究所長
		溝畑 宏	公益財団法人 大阪観光局 理事長
シニアアドバイザー		河田 則文	大阪公立大学大学院 医学研究科長・医学部長
		熊ノ郷 淳	大阪大学大学院 医学系研究科長・医学部長
ヘルスケア・ 先端予防ドック	ディレクター	山田 秀和	近畿大学 医学部 皮膚科学教室 客員教授/近畿大学奈良病院 非常勤医師/ 近畿大学アンチエイジングセンター 所員
	アドバイザー	赤澤 純代	金沢医科大学 総合内科学 臨床教授・女性総合医療センター長
		國澤 純	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター長
		新村 健	兵庫医科大学 総合診療内科 主任教授
		高島 正広	日本抗加齢協会 理事 関西支部 事務局長
		内藤 裕二	京都府立医科大学大学院 医学研究科 生体免疫栄養学講座 教授
		堀江 重郎	順天堂大学 医学部 泌尿器外科学講座 主任教授
未来の病院・ 先端医療展示	ディレクター	富田 哲也	森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 教授
	アドバイザー	猪原 秀典	大阪大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授
		掛屋 弘	大阪公立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学 教授
		忽那 賢志	大阪大学大学院 医学系研究科 感染制御医学講座 教授
		阪井 丘芳	大阪大学大学院 歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 顎口腔機能治療学教室 教授
		坂田 泰史	大阪大学大学院 医学系研究科 循環器内科学 教授
		鶴田 大輔	大阪公立大学大学院 医学研究科 教授・特命副学長（国際広報担当）
		富山 憲幸	大阪大学大学院 医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学 教授
		朝野 和典	地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 理事長 2025年日本国際博覧会 感染症対策検討会議（座長）委員・感染症対策顧問
		中村 博亮	大阪公立大学大学院 医学研究科 整形外科学 教授
		西田 幸二	大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経感覚器外科学（眼科学）主任教授
		藤本 学	大阪大学大学院 医学系研究科 皮膚科学 教授
		宮川 繁	大阪大学大学院 医学系研究科 心臓血管外科学 教授
食・レストラン	ディレクター	増田 昇	大阪府立大学 名誉教授
	アドバイザー	大引 伸昭	辻調理師専門学校 日本料理教授
		笠岡（坪山） 宣代	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国際栄養情報センター 国際災害栄養研究室室長
		北宅 善昭	大阪府立大学 名誉教授
		鈴木 裕子	株式会社Office musubi 代表取締役
		尾藤 環	辻調理師専門学校 産学連携教育推進室室長
		山口 タ	大阪公立大学 農学研究科准教授
バーチャル・ バーチャル大阪 パビリオン	ディレクター	佐久間 洋司	大阪大学 グローバルイニシアティブ機構 招へい研究員
	アドバイザー	荒木 英士	グリー株式会社 取締役上級執行役員/REALITY株式会社 代表取締役社長
		稲見 昌彦	東京大学先端科学技術研究センター 教授
		玉城 絵美	琉球大学 工学部知能情報コース 教授
プラットフォーム・ データ基盤	アドバイザー	阿多 信吾	大阪公立大学大学院 情報学研究科 教授
		坂田 恒昭	大阪大学共創機構 特任教授
		宮本 貴朗	大阪公立大学大学院 情報学研究科長
デジタル通貨	アドバイザー	松田 一敬	神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 客員教授
		宮沢 和正	東京工業大学 経営システム工学 講師
		山岡 浩巳	フューチャー株式会社 取締役 フューチャー経済・金融研究所長
エキスパート	ユニバーサル デザイン	石塚 裕子	大阪大学大学院 人間科学研究科附属未来共創センター 講師
	SDGs全般	草郷 孝好	関西大学 社会学部 教授
	ボランティア・ 市民参加	永井 美佳	大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長
	環境配慮	西岡 真稔	大阪公立大学大学院 工学研究科 教授
	建築 ジェンダー・ インクルーシブ	藤本 壮介	建築家/2025年日本国際博覧会会場デザインプロデューサー
		諸田 智美	NPO法人女性と仕事研究所 代表理事